

12月号

School Aid Japan Cambodia

スクール・エイド・ジャパン・カンボジア



Dream通信

2008. 12. No.9

「夢追う子どもたちの家」 ～第一回運動会を開催しました～②



しっぽ取りは大きい子どもが有利でした。



チーム対抗リレー。タオルが鉢巻き代わり。

タオルを頭に巻き、バトンは適当な長さの木の枝を使用しました。園の施設内を半周して次走者にバトンを渡します。距離にするとおよそ150メートルです。一位にゴールしたチームから順に高い得点が与えられます。スタートの合図と共に各チームが一斉にスタートしました。走ることはあっても、バトンの受け渡しの経験がないためバトンを落としてしまう子どもが多く、最後までどのチームが勝つか分からない接戦になりました。

今月号は前月号に引き続き「夢追う子どもたちの家」運動会の様子についてお伝えいたします。後半の競技最初の種目はしっぽ取りです。

■ 第4種目 しっぽ取り

ビニールテープを1人1本腰につけて尻尾に見立て、相手チームと尻尾を取り合う競技です。自分のチームが相手チーム全員の尻尾を取れば勝ちとなり、逆に全員取られてしまったら負けとなります。この競技は各チーム総当りで行いました。子どもたちは全員必死になって相手チームの尻尾を取りにいけますが、低学年の子どもや体の小さい子どもはすぐに大きいお兄さんやお姉さんに尻尾を取られてしまいました。この種目は今回の反省点で次回からは体の大きさに合わせて競技を行いたいと思います。

■ 第5種目 チーム対抗リレー

最終種目は各チームから男子4人と女子3人を選抜したチーム対抗リレーです。最終種目ということもあり、応援する側になった子どもは、走る友だちに大きな声援を送ります。鉢巻き代わりに



うまくバトンを渡せず、遅れるチームも。

リレーはアンカーで差がつき、Bチームが勝利しました。ゴールの瞬間Bチームからは大歓声上がり他のチームからは大きなため息が聞こえました。最後の走者がゴールをして、一生懸命走った子どもたちに職員からは大きな拍手が送られました。

最終集計が終わるとAチームとBチームが同じ得点で、Cチーム、Dチームの順になりました。そこでAチームとBチームは優勝をかけて、大縄跳びをすることになりました。ルールは多く飛べたチームを優勝となります。Aチームが最初に挑戦して100回を飛んだのがプレッシャーになったのかBチームは40回しか飛ぶことができませんでした。Aチーム大喜びでしたがBチームの子どもは悔しくて泣いてしまう子どももいました。

全種目の競技が終了して最後に表彰式と景品の授与を行いました。後片付けを全員でした後に、職員からおやつのおにぎりが子どもたち全員にふるまわれました。たくさん運動をしてお腹を空かせた子どもたちは全員夢中になっておにぎりをほおばっていました。

転んで大きな怪我をする子どももなく、運動会は無事に終了しました。一生懸命競技に取り組む子どもたちを見て、とても感動しました。友だちと協力して1つのことに取り組むことで、友情や優しさの大切さを覚えていってほしいと思っています。運動会は来年も開催する予定です。

最後に子どもたちに園での初めての運動会についてアンケートを実施しました。一番の人気種目はドッジボール、二番目は大縄跳びでした。また来年もみんなで運動会をしたいと全員が答えていました。子どもたちからの感想や意見をふまえて、次回からの運動会やイベントに取り組んでいきます。



対抗リレー、両手を挙げ一位でゴール！



運動会終了後みんなで記念撮影です。



運動会のあとにおやつを食べました。

子どもたちの運動会へのおもな感想

- Aチーム：■優勝してとても嬉しかった。■友だちが泣いてしまったので、少し悲しい気持ちになった。
■たくさん走って足が痛い。
- Bチーム：■優勝したかったのでとても残念だった、■次回同じこと（運動会）をする時は同じチームの友だちと挑戦したい。■練習したことができてとても悔しかった。
- Cチーム：■運動会はとても楽しかった。■学校で運動会はないので、また園で運動会をしたい。
■園の友だちだけでなく、学校の友だちと園の友だちと対抗で運動会をしたい。
- Dチーム：■プレゼントはもらえなかったけど、同じ園の友だちと一緒に運動会ができたので、負けても悔しくない。■一生懸命やったので、とても楽しかった。